Art & Learning presents

人間と演劇研究所特別講座　滋賀合宿ワークショップ

宮沢賢治を読む

「からだとことばといのちのレッスン」

表現力・コミュニケーション力・自分力をみがきたい人のために

「からだとことばといのちのレッスン」は竹内敏晴の「竹内レッスン」と「野口体操」を応用したレッスンです。

合宿ではレッスンでじっくりとからだと向き合って、新しいからだの感覚で宮沢賢治の物語で朗読劇を行います。

開いたからだで、表現する楽しさや朗読劇を通してだれかとつながる喜びを体感しませんか。

2018年1月6日(土)～8日(月)

＊6日 13時 JR 和邇駅集合・8日 16時 30分 JR 和邇駅解散　会場まで送迎あり

講師：瀬戸嶋 充・ばん　人間と演劇研究所　https://ningen-engeki.jimdo.com/

《講師プロフィール》

講師紹介：瀬戸嶋 充・ばん
1981年 竹内敏晴・野口三千三に師事。1988年人間と演劇研究所設立、「竹内からだとことばのレッスン」と「野口体操の継承指導」、宮沢賢治作品の舞台創作を続ける。現在、主に東京・大阪・京都でレッスン教室を主宰。その他、内観療法・禅・丹田呼吸法など、日本の伝統に根差した 心身修養法を学ぶ。人間と演劇研究所代表・日本ソマティック心理学協会 SPN 世話人。

◇会場：ユースホステル 和邇浜（わにはま）青年会館 〒520-0523 滋賀県大津市和邇南浜403 電話 077-594-0244

◇定員：10名　◇費用：38,000円 レッスン参加費・宿泊費・食費込（駅から会場までのタクシー代・懇親会費用は別途）

講師：瀬戸嶋 充・ばんよりメッセージ

「からだ」とは全てを映す透明スクリーンです。「眼鏡に適う」と言いますが、私たちは自我のフィルター (眼鏡) 越しに、このスクリーンを見ています。フィルターとは脳に書き込まれ た個人的な価値観 = エゴなのです。「あるがままに見る」と言いますが、スクリーン (からだ) に去来する映像をそのままに見るには、息の深さと、エゴに妨げられることのない集中力が 必要です。スクリーンに映される光景に「こころ」を奪われるとき「いまここ」が成立します。その透明スクリーンに物語を投影し、その世界に参入するのが朗読劇です。宮沢賢治童話 の世界にご一緒しましょう。

野口体操とは

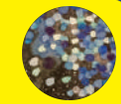
東京芸術大学名誉教授 野口三千三 (1914 ~ 1998 年) によって創始。独自の人間観・身体 観に基づいた実技・実践は、演劇・美術・音楽・舞踏・教育・保健・医療など幅広い分野 に大きな影響を与える。緊張努力礼讃の風潮に抗して、力を抜くこと、からだを緩めほぐし感覚を育てることの重要性を説き続ける。その実践は、著書『原初生命体としての人間』(岩波現代文庫) に詳しい。

竹内レッスンとは

宮城教育大学・南山短期大学教授 竹内敏晴 (1925 ~ 2009) の創始。竹内自身、青年期まで聾唖者であり、戦後新薬の発明によって聴力を回復。演劇界に入り、演出家として身体と言葉の問題 (スタニスラフスキー・システムの研究実践) に関る。演劇活動を通じて自らの失われていた言葉を新たに獲得する。その過程と、のちに日本語教育・表現教育・障 がい者教育に大きな影響を与えることになる「からだとことばのレッスン (竹内レッスン)」の実践については、著書『ことばが劈かれるとき』(ちくま文庫) にまとめられている。野口三千三と共に日本のボディーワークの草分け的存在である。

過去の合宿参加者の感想

≪参加者の感想≫(神奈川三浦ふれあいの村での合宿より) ◆身体の緊張がとれると、心も楽になるのですね。みんなで子供に帰って仲良しになったみたいな気がしました。◆普段の生活を離れて、海と山に囲まれた自然の中で、思い切り声を出したり、歌ったり、散歩をしたり、何もかもが新鮮で、家に帰るのが残念でなりませんでした。ほんとうに楽し い三日間でした。また参加したいと思います。◆人と一緒に過ごすのがこんなに楽しいなんて、いつもは、人に気を使うばかりで我慢していたのですね。



【主催】Art&Learning

【申込・問い合わせ】人間と演劇研究所 瀬戸嶋宛　e-mail : karadazerohonpo@gmail.com　tel : 090-9019-7547

Art&Learning 小石原宛　e-mail : t.koishihara@gmail.com